

揖保郡においては新宮町相坂においての採集記録が唯一のものであり(1977. 6. 17. 1♀, 里田収)、南部の揖保川町、太子市、御津町には報告例がない。新宮町においては今後の調査により新産地の発見される可能性は十分にあるが、それ以外の地域においてはナラガシワが極めて少ないため、産する可能性はうすいであろう。竜野市、姫路市、飾磨郡においても今の所採集されたという報告はなされていない。隣接する地域のように、食草の分布状態から考えて可能性は少ないと思われるが、今後のさらに綿密な調査が望まれる所である。

以上今まで当西播地方において筆者が確認又は報告をうけているヒロオビミドリシジミの産地に関して概略をのべて来たのであるが、まだまだ調査不十分の地域がかなり残されており、今後、多くの同好の志による組織的な分布調査の必要性を痛感する次第である。

最後に、この報文を書くにあたり、資料の提出や有益な助言をいただいた山本広一、木村三郎、松村邦正の各氏及び播磨蝶友会の会員諸氏に深くお礼を申しあげる。



参考文献

- 岩村 巖 (1965) 西播におけるヒロオビミドリシジミの分布に関して、兵庫生物. Vol. 5 No. 1
 高田忠彦・井手敏晴 (1978) 兵庫県産蝶類調査報告、MDK NEWS Vol. 28. No. 79
 広利雅美 (1977) 三日月町の蝶、てんとうむし・No. 4 P. 5

相生市の蝶

川崎 悟 良

1. はじめに

これまで「相生市の蝶」としての蝶類採集報告はなく、西播の蝶分布資料として兵庫県立赤穂高校教員の岩村巖氏が、再々発表されています。相生市は、赤穂市と共に県下の西南端にあって三方は山にかこまれ、一方は瀬戸内海に面し、殆んどが針葉樹におおわれ、昆虫の生息地としての自然環境は誠に貧弱です。蝶の食樹となる広葉樹は少なく部分的に生えているのみです。

市内の北部に君臨する三濃山は、海拔500mあって、山裾や谷間には、クヌギ、コナラ等の雑木がみっ生し、中腹には常緑樹のカシ類があり、西播での昆虫の宝庫と知られています。点在するクヌギ林の梢上を金属光沢まぶしく、翅に一杯の太陽光線をあび、活ぱつとびかうシジミチョウ、谷間や路上をとぶアゲハチョウ、山頂にはアサギマダラの華麗に舞い踊る姿は実にあでやかで、今更乍らに自然の創造に胸うつ思いです。

特に三濃山の稀種として、ムラサキツバメが発生する事です。この蝶は近畿地方では京都府下、滋賀県、紀伊半島南部に局部的に発生し、それも極少と聞いています。相生市で初めて採集されたのは、1963年9月1日で、1♀の記録がある。筆者も1973年と1977年に三濃山で採集している。採集時期は8月のみで、採集3♀2♂の個体はすべて新鮮で、中に翅の伸びきっていない不完全な1♂を採集している。

ムラサキツバメがこの地に発生する事は間ちがいないものと思われるのですが、食樹とするマテバシイ、シリブカガシ等は、植物専門家の言に依ると三濃山にはないと事です。何を食樹としているのか今の所は不明です。考えられる事はムラサキシジミ同様アラカシ等を食樹としているのではないかと考えている。

1976年6月より、9月を通しての調査結果では目撃もできず、察するに、毎年採集、目撃されるだけの個体数の発生はなく、隔年で梢多く発生するものと思われる。

今後は食草並びに発生回数の解明に万全の努力をそそぎたく思っています。

筆者の蝶歴は浅く、知識も未熟で充分ではありませんが相生市蝶採集中間報告とします。

アゲハチョウ科 10種
 アオスジアゲハ・ジャコウアゲハ・モンキアゲハ、ク

ロアゲハ・オナガアゲハ・カラスアゲハ・ミヤマカラ
スアゲハ・アゲハ・キアゲハ・ナガサキアゲハ。

シロチョウ科 7種

ツマキチョウ・モンシロチョウ・スジグロシロチョウ
・モンキチョウ・スジボソヤマキチョウ・キチョウ・
ツマグロキチョウ。

マダラチョウ科 1種

アサギマダラ。

ジャノメチョウ科 11種

ヒメジャノメ・コジャノメ・ヒメヒカゲ・ヒメウラナ
ミジャノメ・ジャノメチョウ・クロヒカゲ・ヒカゲチ
ョウ・ウラナミジャノメ・サトキマダラヒカゲ・ヤマ
キマダラヒカゲ・クロコノマチョウ。

タテハチョウ科 20種

ウラギンズジヒョウモン・クモガタヒョウモン・ミド
リヒョウモン・メスグロヒョウモン・ツマグロヒョウ
モン・ウラギンヒョウモン・イチモンジチョウ・アサ
マイチモンジ・コムシジ・ホシミスジ・サカハチチョ
ウ・ルリタテハ・ヒオドシチョウ・キタテハ・ヒメア
カタテハ・アカタテハ・スミナガシ・コムラサキ・ゴ
マダラチョウ・オオムラサキ。

テングチョウ科 1種

テングチョウ。

シジミチョウ科 20種

ムラサキシジミ・ムラサキツバメ・ウラゴマダラシジ
ミ・ウラキシジミ・アカシジミ・ウラナミアカシジ
ミ・ミズイロオナガシジミ・ウラミスジシジミ・ミド
リシジミ・オオミドリシジミ・ゴイシシジミ・ツバメ
シジミ・クロシジミ・トラフシジミ・コツバメ・ベニ
シジミ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミ・シルビアシ
ジミ・ルリシジミ。

セセリチョウ科 12種

ミヤマセセリ・ダイミョウセセリ・アオバセセリ・ヘ
リグロチャバネセセリ・ヒメキマダラセセリ・コチャ
バネセセリ・キマダラセセリ・ホソバセセリ・チャバ
ネセセリ・ミヤマチャバネセセリ・イチモンジセセリ
・オオチャバネセセリ。

ウラギンシジミ科 1種

ウラギンナミシジミ。

以上、9科、83種

2. あ と が き

(1) 過去に採集された蝶

クロヒカゲモドキ・ウスイロオナガシジミ・ウラ
ジロミドリシジミ・ヒロオビミドリシジミ。

(2) 迷蝶として採集された蝶

ギフチョウ・イシガケチョウ。

(3) 今後採集されられると思われる蝶

キマダラモドキ・ヒメキマダラヒカゲ・エゾスジ
グロシロチョウ。

(4) 以前には市内北部の山裾や谷間に、クヌギ・コ ナラ・ナワガシワ等、蝶の食草となる広葉樹林が 生えていたのが、宅地造成、河川改修、土地開発 により伐採され、その数も少なくなり、蝶達の姿 が消えて行く様は、我々蝶愛好家にとっても淋し い事です。昆虫の生息地となる自然公園も最近 は人工的な公園に造りかえられ、環境的にも今一歩 考えうる所があるのではないのでしょうか、又私達 も乱獲をひかえ、自然保護に協力すべく努力しま しょう。

(GORO KAWASAKI) 〒678 相生市陸本町14-6

越冬していたウラナミシジミ

広 畑 政 己

本種の兵庫県に於ける土着の可能性については、
PARNASSIUS No19 に報告して来たが、1979年2月
12日の南淡町灘地区の調査で、エンドウから本種の終
令幼虫と卵を確認した。

持ち帰った幼虫は2月20日に蛹化し、卵も2月22日
にフ化した。

灘地区は淡路島の中でも気候は温暖で、冬期にも栽
培種のエンドウの花が見られ、2月には大きなサヤを
つける。今冬は特に暖かく、エンドウの発育もよいよ
うであるが、平年でも秋のインゲンマメ、ハマエンド
ウから冬のエンドウ、ソラマメへと食草を換え、世代
を繰り返していくものと思われる。

今年の灘の冬期気温については、灘測候所が無人の
ためその集計が遅れ、発表が4月ごろになる。越冬と
温度の関係など詳細は追って報告したい。